

1992年

学術情報センターでILLシステムを利用した図書館間相互貸借の運用開始

「学術情報センター」は、現在の「国立情報学研究所」の前身で、「ILL」とは「Inter Library Loan」の略で「図書館間相互貸借」を意味します。このシステムは、図書館間で行われている相互貸借サービス（文献複写や資料現物の貸借の依頼および受付）のメッセージのやりとりを電子化したシステムで、大学図書館を中心に2006年には1049館が参加しています。

1995年

『彩-BISC』(CD-ROM版合同蔵書目録)の運用開始

国内では、東京都・千葉県立西部図書館に次いで都道府県段階で3番目として制作・利用開始されたCD-ROM版の合同蔵書目録で、1988年から国立国会図書館が編集、日本図書館協会が製作・発行している「J-BISC」(Japan Bibliο-Disc (日本の書誌データが書かれているディスク))から「彩-BISC」と呼ばれるようになりました。データのデジタル化に伴い、書名や著者名の一部からの検索を可能にし、そして何より資料検索を迅速化・簡易化させました。



↑ 彩-BISC

1999年

『埼玉版 ISBN 総合目録』の運用開始

ISBN (国際標準図書番号) という、個々の出版物を特定するために付けられた番号を使って県内図書館の所蔵する資料を検索するシステムで、探している資料のISBNを入力すれば、どの図書館が所蔵しているかが瞬時に判明するので、利用者の方々への資料提供が迅速になりました。

例: 『ハリー・ポッターと賢者の石』(J. K. ローリング/作, 松岡 佑子/訳, 東京: 静山社, 1999.12)

この本のISBNは 4-915512-37-1 となっています。下の図のような感じで簡単に所蔵館がわかります!

Two screenshots of the ISBN search system. The first shows the input form with the ISBN 4-915512-37-1 entered. The second shows the search results table listing various libraries like '上野野村' and '大塚野村'.

- ①: 入力欄に ISBN を入力
②: 検索実行
③: 所蔵館表示

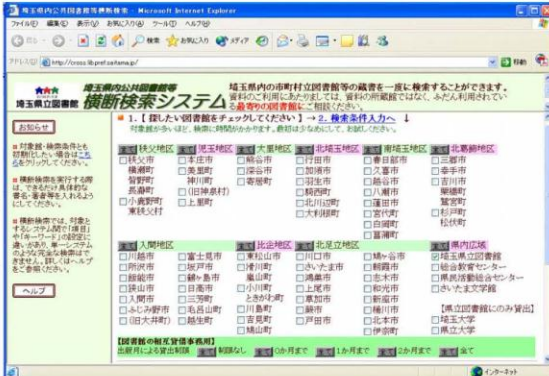
2006年

『埼玉県内公立図書館等横断検索システム』運用開始

県内でも1990年後半から、蔵書目録をインターネット上に公開する図書館がはじまりました。それを利用して、インターネットを通じ、県内の公立図書館や大学図書館などの蔵書を一度に検索できるようにしたシステムです。これまでは、一館一館のホームページにアクセスし、それぞれの検索システムに条件を入力して検索しなければなりませんでしたが、この横断検索システムによって、Web-OPACを持つ、県内の公立図書館等が所蔵する資料を一度に調べることができるようになりました。

埼玉県内公立図書館横断検索システムは http://cross.lib.pref.saitama.jp/ にアクセスすると誰でも利用できます!!

このように、インターネットの普及により本を探す手段は格段に発展を遂げてきました。また、平成19年4月からは物流ネットワークの拠点が県立熊谷図書館に一元化され、より迅速な資料提供が可能となりました。そしてその間、平成17年4月からは埼玉大学図書館と、平成18年4月からは埼玉県立大学情報センターとの相互協力がスタートし、図書館は今、皆様のご要望にお応えするために、館種や自治体の域を超えて手を結び互いに協力し合っています。



↑ 埼玉県内公共図書館等横断検索システムのトップページ 検索したい図書館にチェックを入れ、その下に検索項目を入力して検索すると、どこの図書館で所蔵しているかがわかります。